



麻布幼稚園だより

令和4年9月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。長期休業中は、感染症対策を工夫しながらもお子さんとの時間を楽しみ過ごされたことと思います。

教職員はしっかりと休み、心身の充電をしました。また、教員は保育室や教材室、倉庫の片付けや整頓、主事は園内の特別清掃や全ての床のワックス掛けをする等、環境の整備を行いました。外壁工事や幼稚園玄関のオートロック化の工事、樹木診断等を実施し、安心・安全な環境の整備を進めました。教員はそれぞれのステージや希望に合わせた研修会へ参加、1学期の記録から園内研究を行うなど、研究・修養に努めました。



幼稚園閉鎖期間には、地域コーディネーターからの声掛けに応じてくださった地域・在園保護者の皆様に、栽培物への水遣りボランティアのご協力をいただきました。お陰様で栽培物は暑い夏を越すことができました。引き続き教育活動に生かしていきます。暑い中、本当にありがとうございました。

子供たちが、ぐんと成長をする充実の2学期の始まりです。子供たちの「何だろう」「おもしろそう」「どうしてかな」という興味や関心、「やってみよう」「もう一回」という意欲、「楽しかった」「できたよ」の満足感や充実感が味わえるように、教師は幼児の実態に合った環境を準備し支えています。

子供たちの成長の過程では、時には子供自身が「困ったな」「どうしよう」と立ち止まったり、なかなか前に進めなかったりすることがあります。また、自分の手でするには時間のかかることが多くあります。そのような時には、大人も一緒に困ってしまったり、全てやってあげてしまったりせず、子供たちの力を信じ、見守ってあげることが必要です。自分の手でできる環境を準備してあげたり、少しでも手伝ってあげたりしつつ、自分でできたという満足感と自信が積み重ねられるようにしてあげたいものです。そして、遊びや生活の中で、「人・物・こと」に対して「考える」場面をたくさんつくってあげたいと思います。

期間が一番長い2学期。一人一人の子供たちの成長が楽しみです。何を見付け、何に心を動かされ、何に困って、何を頑張っているのか。成長の糧となる場面を一つでも多く見守り、関わる幼稚園でありたいと思います。そして、楽しいこと、困ったことを保護者の皆様と共有しながら、共に子供たちの成長を支える幼稚園でありたいと思います。

感染症への対応を継続しながら、子供たちにとっての最善は何かを考え進めていきたいと思っています。2学期もどうぞよろしく願いいたします。